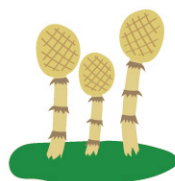




あゆみ



春号

令和6年4月発行
VOL.42



当院職員撮影「今治市宮ヶ崎」

今回の内容

トピックス 2 インフォメーション 5

通所リハビリテーションに
ICT機器を導入しました!

- イオンモール無料健康相談会
- 利用者様作品のご紹介
- 俳句・川柳・短歌をはじめました

リハビリ通信 3

お口の機能、弱ってませんか?
~オーラルフレイルにご用心!~

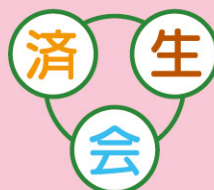
当院について 6

- 外来診察表、診療実績
- 病院理念
- 患者様・利用者様へのお願い

インフォメーション 4

TQM活動報告会を開催して

済生会3つの目標 ~すべてのいのちの虹になりたい~



生活困窮者を **済** (すく) う
 医療で地域の **生** (いのち) を守る
 医療と福祉、**会** を挙げて
 切れ目のないサービスを提供

トピックス

通所リハビリテーションに ICT機器を導入しました!

ICTとはInformation and Communication Technologyの略称で、情報通信技術のことを意味します。介護現場では主に紙で管理していた情報を電子化することで業務負担を軽減することを目的に活用されています。

全国的にもICT機器を介護現場に導入していく動きが求められています。ICT機器の導入で期待される効果としては、①電子保存による文書量削減、②転記不要による記録負担軽減、③データ連携の効率化、④情報共有の促進による介護の質の向上などがあります。

そんな昨今の情勢を踏まえ、令和6年2月、当通所リハビリでもタブレット端末5台とBluetooth通信対応の体温計、血圧計を導入しました。

ICT機器の導入で期待される効果

①電子保存による文書量削減

③データ連携の効率化

②転記不要による記録負担軽減

④情報共有の促進による介護の質の向上



タブレット端末に介護ソフトを導入し、日々の記録が簡単に行えるようになりました。音声入力機能を標準装備しているため記録業務の時間の短縮が可能です。また、体温計、血圧計とタブレット端末の連携が出来るため、転記不要でバイタルの記録が行えるようになりました。

導入当初は慣れない機器の扱いや打ち込み作業に試行錯誤していましたが、少しずつ使い方に慣れ、業務負担の軽減に一役買ってくれています。

作業療法士 檜部 麻衣

リハビリ通信

お口の機能、弱ってませんか？
～オーラルフレイルにご用心！～



オーラルフレイルって何？

お口の機能のことを「口腔機能」と言います。そして、お口の機能＝口腔機能が加齢により低下することを、「オーラルフレイル」と言います。歳をとると、全身の筋肉が少なくなってきます。もちろん、お口の筋肉も弱まります。つまり、歳をとっていただけで、「オーラルフレイル」に近づく、ということになるのです。

オーラルフレイルの状態になると



食事中にむせる



上手く飲みこめない



食べこぼし

オーラルフレイルを予防するには

オーラルフレイルの予防には、「嚥下体操」が効果的です。この体操は、食事を飲み込みやすくし、誤嚥の予防にもなります。簡単な体操ですので、ぜひやってみてください。美味しく安全に食事をして、楽しい毎を送りましょう。

嚥下体操

① まず姿勢を整える

- ・椅子に深く座る
- ・背筋を伸ばす
- ・両足をしっかりと地面に着ける



② くびの運動 (首まわし)

ゆっくり大きく動かす



③ くちの運動 (あいうべ体操)



嚥下おでこ体操

(飲み込みの筋肉トレーニング)

高血圧・頸椎症の方には推奨しません



喉の筋肉を鍛える訓練です



① 手の平の付け根あたりを、おでこに付けます。



のど仏の上あたりに力が入るように！

② おへそを覗き込むように、顎を引きます。

③ おでここと手の平を、押し合っそのままキープします。

参考文献：「患者さんのためのオーラルフレイルと口腔機能低下症」(リハツバメ)から画像引用。

インフォメーション

information

TQM活動報告会を開催して

～コロナにかまけることなかれ～

令和6年3月22日(金)、TQM活動報告会を開催しました。令和5年度は、コロナ禍を経て数年ぶりのTQM活動でしたが、リハビリ・医事課・居宅介護支援事業所と医療ソーシャルワーカー・病棟・訪問看護・通所リハビリがそれぞれの専門性を活かした活動を繰り広げました。

リハビリ職が関わる訓練以外の自主訓練指導の改革、入院患者の内服薬を減らし加算に繋げる取り組み、医療材料の取りこぼしを防ぐには、身寄りのない人への金銭的サポートについて、訪問看護のホームページをアップデートし利用者UPに繋げるなど。今回、一位を獲得したのは、通所リハビリのペーパーレスに向け、タブレット活用をうまく連動させた取り組みでした。TQM活動は、単に業務改善・質の向上を行うだけではありません。部署やチームでの活動を通じ、職員一人一人がQC的なものの見方、問題解決の手法を身に着け、自分たちで考え取り組む姿勢を養う目的もあります。今回のTQM活動が継続されることを願うとともに、様々なアイデアが職員から聴かれ、職員が自主的に活動できる組織になればと思っています。



TQM表彰式と受賞者(前列)。皆さまお疲れ様でした。

目標

- 紙の削減に向けた職員の意識向上を図る
- 紙の無駄使いを減らす
 - 塗り絵・脳トレ用紙7,000枚から約3割削減する
 - おたより・献立表2,880枚から約5割削減する
 - 月末利用者報告書約2,400枚から約3割削減する
- タブレット導入により、紙業務を電子化する

活動・結果

・脳トレ・塗り絵プリント	7,000枚 → 4,560枚	2,440枚削減 約3割減
・おたより、献立表	2,880枚 → 1,440枚	1,440枚削減 5割減
・月末利用者報告書	2,400枚 → 0枚	2,400枚削減 全部カット!
・日誌、計画実行表 (電子化)	3,220枚 → 0枚	3,220枚削減 全部カット!

済生会今治第二病院 TQM委員会

イオンモール無料健康相談会

令和6年2月17日(土)、イオンモール今治新都市にて、済生会今治病院&愛媛県看護協会「まちの保健室」コラボ企画(「健康寿命を延ばしましょう!」みんなで健康チェックしませんか?ココモってご存知ですか。)が開催され、第二病院の職員もお手伝いに参加いたしました。

【企画内容】

①健康チェック

貧血、動脈硬化、骨密度、握力測定、体脂肪、筋力測定など。

②ココモ度チェック

- ・立ち上がりテスト(下肢筋力を調べます。)
- ・2ステップテスト(歩幅を調べます。)

③看護職による健康相談



参加された方は「普段は血圧を測ることがなくて分からなかったが、高めであることが分かった。今後の健康維持のために日頃から血圧を測るようにします。」と話されていました。

介護支援専門員 垣本 晴子

俳句・川柳・短歌もはじめました

・春うらら 少しやわらぐ 腱鞘炎 稲田 弘子様
 ・リハビリの 目標定め 励む日々 八重桜様
 ・達成感も また格別に
 ・次々に つぼみ増したる 桜草 八重桜様
 ・生命力の たくましさ見る
 ・ふきのとう 味が味もそえて 春知らせ ☆ 様
 ・水仙を 水洗トイレに 推薦す ゆみちゃん様
 ・甘党に ささやきかける さくらもち ゆみちゃん様

利用者様作品のご紹介

総合事務室の受付に展示させて頂いています。
見る人を笑顔にする作品です。



まる やま とま こ
丸山 時子様

外来診療表

	担当医	診察時間	月	火	水	木	金	備考
内科	堀池 (一般・肝臓・消化器)	午前 9時～12時	○	○	○		○	〈受付時間〉 8:30～11:30、13:00～16:00
		午後 13時～17時		○			○	
	道堯 (一般・肝臓・消化器)	午前 9時～12時				○		
		午後 13時～17時				○		
	田丸 (糖尿病・甲状腺)	午前 9時～12時	○	○	○	○	○	
		午後 13時～17時	○	○	○			
脳神経内科	矢部	午前 9時～12時			隔週			〈受付時間〉 8:30～11:30、13:00～15:00
		午後 13時～16時			隔週			

※土・日・祝日は休診となります。※出張などで休診となる場合もございますので、予約なく来院される場合は前もって受付(TEL0898-23-0100)までご確認ください。

● 数字で見る診療実績(回復期リハビリテーション病棟)

令和5年度 診療実績	12月	1月	2月
リハビリテーション実績指数	62.2	53.5	40.3
重症患者率(%)	40.0	50.0	24.0
重症患者回復率(%)	87.5	100.0	57.1
在宅復帰率(%)	78.9	88.9	52.2

【済生会今治第二病院の理念】

私たちは患者様、利用者様との相互の信頼と協力により良質で安全かつ効率的な医療と福祉を提供します。

【基本方針】

1. 高齢者の保健・医療・福祉に責任を持つ施設であること。
2. 高齢者を寝たきりにさせない医療を行うこと。
3. 患者様、利用者様の安全な在宅生活を支援すること。
4. 職員それぞれの能力が十分に発揮できる施設であること。

【患者様、利用者様の権利】

- 良質な医療と福祉を公平かつ適正に受ける権利
- 意思や人権が尊重される権利
- 医療と福祉に関する説明や、情報の提供を受ける権利
- 自らの意思で医療と福祉を選択する権利
- プライバシーと秘密保持が厳守される権利

【患者様、利用者様へのお願い】

良質な医療福祉を受けていただくために、ご協力をお願いいたします。

1. 医療福祉の提供にあたって正しい情報をお話してください。
2. 診療・治療、日常生活支援に関することに積極的に参画してください。
3. 医療福祉関係の学生や研修生が見学・研修に伺うことがあります。ご協力をお願いいたします。
4. 規則と指示を遵守して、他の患者様・利用者様などに対して迷惑行為のないようお願いいたします。

施設ご案内図



社会福祉法人 恩賜財団 済生会今治第二病院

〒794-0054
愛媛県今治市北日吉町1丁目7番43号
TEL(0898)23-0100
FAX(0898)23-0300



https://www.imabari.saiseikai.or.jp/site/saiseikai-imabaridai2/
E-mail:jimu2@imabari.saiseikai.or.jp

- 【併設機関】
- 済生会今治指定居宅介護支援事業所さいせい TEL(0898)33-7373
 - 済生会今治訪問看護ステーション TEL(0898)33-8810
 - 済生会今治訪問介護事業所さいせい TEL(0898)33-8830
 - 通所リハビリテーション TEL(0898)32-6350
 - 訪問リハビリテーション TEL(0898)23-0100

編集後記

春ですね。暖かい、心地よく吹く風の匂いと、開き始めた若葉の黄緑で癒される。日本に生まれて良かったなあとしみじみ思います。そんな春の陽気を味わえる最高の見晴らしスポットが今治にあるのをご存じでしょうか。晴れの日妙見山古墳山頂。おススメですよ。
※クマンパチもいます。びっくりして山頂から転げ落ちないように注意してください※

医療費でお困りの方はご相談ください

社会福祉法人恩賜財団済生会では、『無料低額診療事業』を実施しています。相談は無料、内容についての秘密は厳守いたします。お気軽にご相談ください。
相談窓口：1階 医療福祉連携室